

## 滋賀県選手として活躍したい

今回は、9月に韓国で開催された世界選手権に日本代表として出場された綾戸真美さんにお話を伺いました。また、10月に福井で開催された第73回国民体育大会では滋賀県選手団の旗手も務められました。



### ライフル射撃 綾戸 真美 選手(滋賀ダイハツ)

#### ■今季から地元企業に所属したのは?

地元である滋賀県の選手として活躍したいという思いがありました。会社も優先的に競技に打ち込める環境を作っていただいているので、全国各地の射撃場へ行き練習しています。

#### ■ライフル射撃の魅力は?



▲照準を合わせて、的を狙う綾戸さん

私をはじめ、多くの方が高校生から始める競技です。みんなスタートラインが一緒なので、努

力次第で日本の上位そして世界でも戦えることですね。競技は、対人でなく自分との戦いです。自分といかに向き合って成績をだせるかという点も魅力のひとつです。

#### ■東京オリンピックへ向けての意欲は?

2年後のオリンピックの選考は来年にあります。目先の結果にとらわれず、世界選手権の直前で射撃姿勢の変更を行い、オリンピックで戦える自分の射撃の確立に取り組んでいます。もちろん、めざすのは東京オリンピックですが、自分の納得できる射撃をするため、競技面、生活面ともに自分磨きをし、日本代表選手にふさわしい人物になりたいです。



▲射撃場で競技服を身に着けた綾戸さん



## ゲートボールでお年寄りと交流

～甲南第二小学校～

杉谷グラウンドで10月22日、甲南第二小学校の児童がお年寄りとゲートボールで交流しました。

この交流は、平成14年から月に1回、クラブ活動の時間に行われています。この日は、ゲートボールクラブに所属する4～6年生7人が参加し、地域の方と一緒にゲートボールを楽しみました。子どもたちは「おじいちゃん、おばあちゃんに教えてもらって上手になった」と話し、地域の方は「子どもは覚えるのが早い」と児童らの上達を喜んでいました。



◀ゲートボールを楽しむ児童と地域の皆さん

## 忍者から逃げ切れるか

～甲賀流忍者大祭～

甲賀流忍者大祭が11月11日、鹿深夢の森公園で開催されました。

この祭りは、市商工会青年部が主催で初めて開催し、忍者や地域の魅力をPRしようといわれました。祭りの目玉企画として、制限時間内に仕切りで囲まれたエリア内で「忍者」から逃げ切れるかを競うゲーム「忍者逃走中」には、児童約300人が参加しました。

参加した児童は、「最後の1人まで逃げ切った」「忍者が速すぎる」と顔に汗をかきながら走り回り、楽しんでいました。



▲忍者ハンターから逃走する児童

### 情報交流広場

## となりまち



### 伊賀市 芭蕉翁記念館

～芭蕉さんのふるさとで作品に出会う～

芭蕉さんのふるさと伊賀市には、芭蕉さんの手紙などの真筆が今でも大切に守り伝えられています。上野公園内にある芭蕉翁記念館では、「日本の四季と芭蕉」を年間テーマとして展示を行っています。



冬の展示は「日本の四季と芭蕉 冬 ～古里や膺の緒に泣くとしのくれ～」と題し、真筆を中心に芭蕉さんの冬の句などを紹介します。

- 期間 ● 1月5日(土)～3月13日(水)
- ところ ● 三重県伊賀市上野丸之内117-13(上野公園内)
- 問い合わせ ● 伊賀市企画振興部文化交流課  
☎ 0595-22-9621 ☎ 0595-22-9619

### 亀山市

## かめまる Level.21

～かめやまに食べ物・雑貨・体験が集まる物産展～

オリジナルのハンドメイド雑貨やかわいい小物、おいしいもの、ベビー雑貨、衣料品など、たくさんのお店が、三重県内外から「かめ」やまに、あつ「まる」物産展です。(2日間で約90店舗)



Instagram、フェイスブックで出店者情報を公開しています。両日とも13時から、先着50人にたまごのプレゼント企画もあります!(1家族1パック限り)

かめまるで楽しい時間を過ごしてみませんか。

- と き ● 12月25日(火)、26日(水)  
9時30分～15時(中央コミュニティセンター内10時～15時)
- と ころ ● 亀山市文化会館(三重県亀山市東御幸町63)
- アクセス ● JR亀山駅から徒歩7分
- 問い合わせ ● かめまる実行委員会  
不破 ☎090-5103-7654

## 障がいのある人たちが自ら企画・進行

～第53回滋賀県知的障がい者教育福祉振興大会～

第53回滋賀県知的障がい者教育福祉振興大会が11月18日、あいこうか市民ホールで開催され、県内を中心に約700人が参加しました。

障がいのある人たちが自ら企画し、進行した「本人大会」では意見交換会や大正琴の奏でる曲に合わせたダンスなど、ステージも観客も会場全体が盛り上がっていました。

大会の最後には、これからもこの活動の輪を広げていけるよう本人たちによって決議されました。



▲本人大会で大正琴に合わせて全員がダンス

## フラワーロードでランナーを応援

～2018あいの土山マラソン大会～

あいの土山マラソン大会が11月4日、土山体育館周辺を発着点に行われ、約3,200人が参加しました。

スタート地点では小雨が降るあいにくのコンディションでしたが、参加者たちは号砲とともに秋の土山路を元気よく駆け抜けました。

コースの折り返し付近である水口町の今郷地区では、「前進」の花言葉を持つガーベラなど、コース沿道に地区住民が育てた花が飾られ、ランナーを元気づけていました。



◀コース沿道に作られたフラワーロードを走る参加者